

いつもお世話になり ありがとうございます。
ごさいます。

石井ひでたけ
です！

石井ひでたけホームページ（現在リニューアル中）
<http://www.ishiihidetake.com>

みるみる 通信



兵庫県議会議員
石井ひでたけ県政報告
vol. 27-1 2007年11月号
まっすぐに ひたむきに
県政へ 全力投球



For The Future

発行元：石井ひでたけ事務所

新たな行財政構造改革推進方策の策定に向けた取組みについて



～もっと身近に県政を～

いつもお世話になりありがとうございます。11月に入り、今年もあと1ヵ月あまり。朝晩もめっきり寒くなりましたが、お変わりなくお過ごしでしょうか？

県においては、阪神・淡路大震災後の厳しい財政状況のもとで、フェニックス計画に基づく巨額の復旧・復興事業を推進していくため、平成11年度に策定した「行財政構造改革推進方策」に基づき、中長期的な視点に立った行財政運営を進めてきましたが、復旧・復興事業に係る本県負担額は約2兆3千億円に達し、その財源手当として約1兆3千億円の県債を発行せざるを得なかったことから、震災関連県債の残高は19年度時点でも約8,500億円と、県債残高全体の1/4以上を占めており、このことが他府県にない大きな負担となっております。こうした中、今後の収支見通しを試算すると、平成20年度から30年度までの11年間で、1兆円を

超える収支不足が見込まれる結果となっています。しかし、このような厳しい財政環境が続くなかにあっても、少子高齢社会や人口減少社会の到来を見据え、元気な兵庫づくりを着実に進める必要があります。そこで、県民の目線に立った持続可能な「新たな行財政構造改革推進方策」の策定に向け、県民が納得する実効ある行財政改革に向けて取組んでいきます。皆様のさらなるご理解とご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

第292回9月定例会兵庫県議会報告（9月25日～10月9日開催） * 次回第293回11月定例会は

11月26日～12月21日まで開会予定

(1) 平成18年度公営企業会計決算について

本県においては、「兵庫県病院事業会計」「兵庫県水道用水供給事業会計」「地域整備事業会計」など計7つの公営企業会計があります。この公営企業会計の平成18年度決算認定について、地方公営企業法に基づき提案がありましたが、慎重に審議をするため、23名の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、次回定例会までの閉会中に継続審査することとなりました。

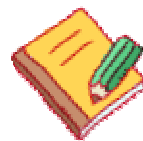
(2) 行財政構造改革調査特別委員会の設置について

県の行財政構造改革に関する調査検討を行うため、行財政構造改革調査特別委員会が設置されました。

(3) その他の議決案件について

(1) 意見書の議決

- ①「割賦販売法の改正を求める意見書」
- ②「被災者生活再建支援制度の見直しに関する意見書」
- ③「中小企業の事業承継円滑化のための支援を求める意見書」
- ④「地方公共団体の財政の健全化に関する法律における財政の健全化判断に係る特例措置を求める意見書」
- ⑤「食の安全・安心の確保を求める意見書」
- ⑥「産科・小児科医療の環境整備に関する意見書」
- ⑦「河川及び海岸事業における排水機場や海岸堤防等の老朽化対策への支援に関する意見書」



(2) 請願の採択

新たに提出された10件と継続審査を行っている2件の計12件の請願について審査した結果、3件を採択し（「妊娠かつう相談窓口」の設置を求める件」「割賦販売法の改正を求める意見書提出の件」「割賦販売法の抜本的改正を求める意見書提出の件」）、5件を不採択、残る4件を継続審査としました。

(3) その他

「使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例制定の件」等条例7件、「西宮市の中核市指定に係る申出について同意する件」を含む合計26件（人事2件、意見書7件を含む）について可決し、我が会派が議会改革を鋭意すすめる中、不透明な使途が指摘されている政務調査費のあり方について、全ての領収書添付（プライバシー保護のため、人件費は除く）、来年4月実施を骨子とした「兵庫県政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定の件」は残念ながら、自民・公明等の反対で継続審査となりました。

産業常任委員会活動報告～県議会レポート3TV放映（11月25日）

11月の閉会中の継続調査事件は「感動を呼ぶツーリズムひょうごの創造について」で11月19日に開催されます。また、11月6、7日の2日間東淡地区の東播磨県民局・淡路県民局管内の現地調査が行われ、これに先立ち11月5日には正副委員長のテレビ録画インタビューが収録されました。これらの様子は11月25日サンテレビで放映されますので、是非ご覧ください。また、12月の継続調査事件は11月定例会県議会終了後の12月25日に開催予定です。

<収録の現場風景>
(午後10時30分～15分間放映)

2008年度当初予算編成に対し、知事に申し入れ！【11月15日】

兵庫県議会民主党・県民連合議員団では、県民だれもが安全・安心な暮らしが確保できる真に豊かな兵庫県を実現するため、兵庫県政における政策的理念と姿勢を希求し、9月10日に「重要政策提言」をとりまとめ、知事に提出しました。(前月号にて報告)

さらに、この「重要政策提言」を踏まえ、「選択と集中」の徹底と住民ニーズに的確に応える施策への重点的な予算配分による施策展開を求め、知事に対して、当初予算編成に対する申し入れを行います。主な大項目としては以下の5つの政策提言を中心にまとめ上げ申し入れを行います。

- 1 真の分権型社会の構築と県民の参画と協働に向けて
- 2 健康福祉社会及び環境適合型社会の実現に向けて
- 3 産業の活性化、雇用対策の充実及び国際化の推進に向けて
- 4 新たな兵庫教育の推進に向けて
- 5 県民が安全で安心して暮らせる治安体制の充実と危機管理に向けて



(詳しくは11月中旬以降、兵庫県議会民主党・県民連合議員団のホームページ <http://www.hyogo-minshu-kr.jp/> でご覧下さい。)

その中でも特に今回は県の行財政構造改革に最も関心が集まる中、「**真の分権型社会の構築と県民の参画と協働に向けて**」に関する項目についてご紹介します。

- ① 新たな行財政構造改革推進方策の策定にあたっては中長期の視点に立って、自ら政策企画権を行使できる体制、市民の一番身近な地方政府での事務執行ができるよう県としての役割を發揮できる体制、ボランティア精神がしっかりと根付き結果する体制づくりに努めること。
また、事業官庁から政策官庁へ変革を遂げるとともに、職員の意識改革を図り、選択と集中によるメリハリのついた施策展開に努め、常に県民の目線にたった行革を推進すること。
- ② 組織改革については、県民にとって必要かつ重要な行政課題については、いわゆる縦割り行政の弊害を是正し、総合的、機動的に対応できる包括的・主導的立場に立つ部を明確にし、今の県民政策部に代わって、先を見越した政策企画をまとめあげる部局を設置するなどの組織体制を確立すること。
- ③ 県民局の再編にあたっては、県と市町との役割分担を見直し、事業仕分けをしたうえで、体制等組織・機構の見直しを行うこと。
- ④ 組織にとって最も重要なものは人であるという認識に立ち、優秀な人材の確保に向けて重点投資を行うこと。
また、採用した職員は、財務をはじめ分野別の専門家として、また、県行政の執行に向けては重厚な布陣で臨めるよう、あらゆる分野で国等との連携を図れる人材を育成すること。
- ⑤ 事務事業改革については、部局間の連携、市町との連携という広角的視点をもって実効性の向上に取り組むとともに、県単独事業の重みを受け止め、現場主義を基本姿勢に、特に医療・福祉・教育など県民生活と直結する政策については、現場からの事業発信ができる仕組みづくりに取り組むこと。
- ⑥ 投資事業改革については、投資の伸びが突出している建設費を精査し、真に必要な事業とその優先順位を定めたとうえで透明性の高い事業推進を図ること。
- ⑦ 公的施設改革については、指定管理者制度への移行が、外郭団体存続の目的に利用されていないか、厳しく査定を行うこと。
また、県の役割として重要度の高いもののみを残し、その他は市町・民間等に委譲するほか、事業が補完できるものは統合に努めること。
- ⑧ 試験研究機関改革については、他府県との広域行政に移譲することも念頭に、政策と結びつく研究機関、県民局及び各市町と情報共有がはかれる試験研究機関に整理すること。
- ⑨ 公社改革については、財団法人兵庫県園芸協会・公園協会など県行政と密接な関連のある公社等は、県主導で徹底的に事業を見直し、業務の効率化を図ること。
また、公社等の外郭団体との随意契約のあり方を見直すこと。
- ⑩ 地方分権の推進にあたり、自主財源の確保は非常に重要な課題であると認識し、「県民緑税」などについて情報を積極的に開示し、県民の理解に努めながら、その確保に向け、積極的に取り組むこと。

～ほっと一息～ フルマラソン完走を目指して

秋深まる中、来月で朝の駅頭等での挨拶も8年目を迎えます。今年11日には昨年に引き続き雪彦マラソン(ハーフ・2回目)、23日には六甲全山縦走大会(56キロ・4回目)に参加を予定しながら今年度の重点目標はフルマラソン初完走!! 第28回篠山マラソン(来年3月2日開催)の案内が遂に我が家に。早速、申し込みは済ませたものの、練習は相変わらず出来ていません。しかし、なんとか完走して一昨年の悔しさを晴らしたいものです。



どんどん
ご意見・ご要望を
お寄せ下さい。



〒651-2133
神戸市西区枝吉1丁目215番地
E-mail: voice@ishiihidetake.com
TEL / 078-920-2200
FAX / 078-920-2211

石井ひでたけ
事務所

県政のご相談・お問い合わせは
事務所まで。必ずご氏名・ご連絡
先をお知らせください。

石井 秀武 (いしい ひでたけ)

昭和41年4月15日生まれ B型 西区学園西町在住
白陵中・高、神戸商科大学卒、サラリーマン生活を経て、
阪神・淡路大震災直後、会社を退社、代議士秘書
平成11年、西区より県議選に出馬するも惜敗(16315票)
平成15年、二度目の挑戦で県議会初当選(23129票)
平成19年 再選(24881票)

現在兵庫県議会議員(2期目)
産業労働常任委員会委員長 民主党兵庫県連常任幹事
民主党兵庫県第4区総支部幹事長 兵庫民社常任幹事
兵庫県宅地建物取引業協会会員 明石市柔道協会理事
兵庫県自転車競技連盟顧問
社会福祉法人相談役 他